

国ではどのような対応をしているのですか？

農林水産省では、今回の原因を早急に究明し、防疫体制の一層の強化を図るため、以下の措置を行うこととし、現在も必要な調査を進めています。

当該牛の導入経路、飼料の給与状況等について疫学調査を実施しています。

全国の全ての牛（約459万頭）の飼養農家（約14万戸）に対して、家畜防疫員（都道府県家畜衛生保健所の獣医師等）による立入調査を実施し、9月30日までに全て終了しました。この結果、BSEを疑う牛は見つかりません。

飼料安全法に基づき、牛の飼料を製造する全ての飼料工場（142工場）を対象に、肉骨粉等の混入防止対策の実施状況等についての立入検査を実施し、9月21日までに全て終了しました。収去したサンプルの分析の結果、全ての牛用飼料に肉骨粉の混入は認められていません。

また、10月4日から当分の間、全ての国からの肉骨粉等の輸入を一時停止するとともに、国内における製造・出荷も一時停止することとしました。

さらに、国内における一時停止の実効性をより確実にするため、飼料安全法に基づき肉骨粉等を含む全ての家畜用飼料の製造・販売家畜への給与を法的に禁止することとしました。

そのほか、厚生労働相と協力し、と畜場で食肉処理を行うすべての牛について厳格な検査を行い、感染が認められた牛についてはすべて焼却します。また、OIE（国際獣疫事務局）の基準で危険部位とされている脳、せき髄、眼、回腸遠位部は、BSEの感染の有無にかかわらず、すべての牛で、解体時に除去し焼却しています。

農場においても、BSEが疑われる牛については徹底した検査を行い、これらの牛は結果にかかわらず焼却することとしています。

この結果、BSEに感染した牛の肉などが市場や店頭に出回ることは一切ありません。

この結果、BSEに感染した牛の肉などが市場や店頭に出回ることは一切ありません。

現在販売されている加工品は安全ですか？

国は、現在流通している加工食品について、牛を由来としている原材料をすべて点検し、危険部位の使用や混入が認められた場合には、原材料の変更、当該製品の販売中止や回収を行うよう、製造業者・加工業者に対して指導を行っています。これらの結果は厚生労働省

のホームページですべて公表されています。

牛海綿状脳症についての問い合わせ
厚生労働省医務局食品保健部監視安全課
☎ 03-5253-111(代) <http://www.mhlw.go.jp/>
農林水産省生産局畜産部衛生課
☎ 03-3502-811(代) <http://www.maff.go.jp/>

学校給食で牛肉使用

町内の小中学校の給食で牛肉を使った料理がありました。

これは、BSE（牛海綿状脳症）の疑いがある乳牛が確認されてから、牛肉消費が減り、本町の基幹作目ともいえる畜産の基盤が深刻な事態になっていることから、牛肉の安全性と消費をアピールするために、町の予算で実施されたもので、牛肉約60キログラムが使用されました。

12月19日（水）の給食は、牛肉を使った「すき焼き」で、子どもたちもとてもおいしそうに食べていました。



おいしそうに食べる子どもたち

牛海綿状脳症（BSE）Q&A

牛肉・牛乳は安全です！

平成13年9月に日本で初めて牛海綿状脳症が発見されました。現在国は、感染した牛の肉などが、市場や店頭に出回らないシステムを確立し、牛肉などの安全性を確保しています。

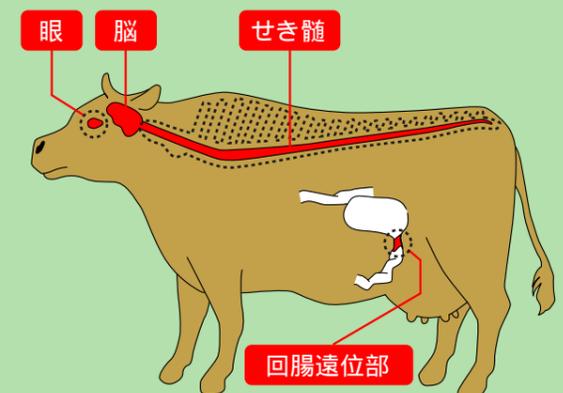
牛海綿状脳症とは？

牛海綿状脳症（BSE：Bovine spongiform encephalopathy）は、1986年にイギリスで初めて報告された牛の病気です。BSEにかかった牛の脳の神経細胞は空胞化し、海綿状になることから、牛海綿状脳症と名付けられました。牛がBSEに感染すると、2～8年の潜伏期間の後、発病し、行動異常や運動失調を示すようになって、2週間から6ヶ月の経過を経て牛は死に至ります。

BSEはウイルスより小さい感染因子である「異常プリオン」を含む飼料などを食べることによって感染します。牛同士の接触や空気を介して感染することはありません。

異常プリオンは、BSEにかかった牛の脳、せき髄、眼、回腸遠位部に含まれていること

が確認されています。そのため、国際機関のOIE（国際獣疫事務局）の基準では、これらの部位は特定危険部位とされ、除去すべき対象になっています。



牛肉や牛乳は食べても安全なのですか？

牛肉や牛乳・乳製品はOIE（国際獣疫事務局）の基準において、もともと安全です。牛海綿状脳症（BSE）は、英国で実施された、マウス等への接種試験で牛からマウスへの感染が明らかとなった脳、脊髄、眼及び回

腸遠位部以外の部分からの感染は認められていません。

牛肉や牛乳・乳製品について不安を抱く方がおられますが、このことを十分に御理解の上、安心して召し上がってください。

BSEは、ヒトや他の動物には感染しないのですか？

ヒトの海綿状脳症としては、クロイツフェルト・ヤコブ病等がありますが、このうち新変異型のクロイツフェルト・ヤコブ病が、BSEとの関連を指摘されています。

英国における新変異型クロイツフェルト・ヤコブ病については、1995年から2001年までに100余名の死亡が確認されているところですが、これは、危険度の高い牛の脳や眼を習慣的に食べたことが原因ではない

かと考えられます。

なお、英国における感染の危険度は、例えばインフルエンザ感染による死亡の危険度と比較すると1000分の1となっています。

また、豚や鶏といった牛以外の家畜がBSEに感染したという事例は報告されていません。なお、めん羊、山羊、ミンク等でも類似の海綿状脳症が知られていますが、これらはBSEとは異なる病気とされています。